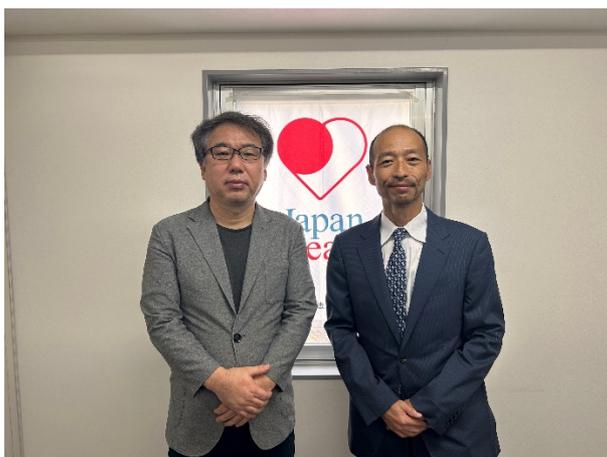


ジャパンハートラオスと日本内分泌外科学会とのパートナーシップ協定の調印式が行われました

ジャパンハートラオス甲状腺治療技術移転プロジェクト

ラオス人医療者だけで甲状腺疾患治療ができることを目標に活動するジャパンハートラオスと日本内分泌外科学会とのパートナーシップ協定の調印式が2023年7月25日にジャパンハート事務局（東京都台東区）で行われました。



ジャパンハート最高顧問の吉岡秀人先生と原尚人理事長

国際医療 NGO「ジャパンハート」は2004年に設立され、ミャンマー、カンボジア、ラオス、日本で医療支援活動を行っています。2015年にはラオスで甲状腺疾患の治療活動が開始され、これまでに内科診療は1000名を超え、70人の患者さんの手術が行われました。まだ手術待期患者さんがおられますが、現状では日本人医師が参加するときにしか手術ができません。甲状腺診療ができる現地医療人を育てることが、ジャパンハートラオスの大きな役割の一つであり、日本内分泌外科学会はこの活動に賛同し、指導医を募集しました。今後は現地での手術指導やオンライン講義を中心とした活動を行う予定です。

- ・ 調印式動画

<https://www.youtube.com/watch?v=ECcMaoIRbug>

- ・ 吉岡先生と原先生の対談動画

<https://www.youtube.com/watch?v=IDOWuKoanrE>